

(資料2) 仮に改革を行わず現在の財政運営を続けた場合の財政見通し

【歳入推計】

(単位:億円)

歳入区分	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H20～ H29累計
1. 一般財源	3,081	3,043	2,939	2,921	2,938	2,937	2,931	2,948	2,948	2,952	2,953	29,510
(1) 県税	694	708	713	723	765	745	745	745	745	745	745	7,379
(2) 地方交付税＋ 臨時財政対策債	2,040	2,012	1,935	1,902	1,876	1,899	1,894	1,909	1,910	1,914	1,914	19,165
(3) その他	347	323	291	296	297	293	292	294	293	293	294	2,966
2. 特定財源	1,978	1,997	1,985	1,950	1,858	1,847	1,825	1,834	1,826	1,817	1,813	18,752
(1) 県債	463	483	484	486	435	428	402	412	416	392	401	4,339
(2) その他の特定財源	1,515	1,514	1,501	1,464	1,423	1,419	1,423	1,422	1,410	1,425	1,412	14,413
歳入合計①	5,059	5,040	4,924	4,871	4,796	4,784	4,756	4,782	4,774	4,769	4,766	48,262

【歳出推計】

歳出区分	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H20～ H29累計
1. 義務的経費等	3,202	3,234	3,139	3,110	3,116	3,096	3,088	3,118	3,123	3,125	3,118	31,267
(1) 職員給与費	1,242	1,305	1,263	1,249	1,244	1,218	1,216	1,228	1,230	1,242	1,243	12,438
退職手当除き	1,126	1,172	1,148	1,129	1,119	1,109	1,109	1,109	1,109	1,109	1,109	11,222
退職手当	116	133	115	120	125	109	107	119	121	133	134	1,216
(2) 扶助費	301	311	313	320	326	326	326	326	326	326	326	3,226
(3) 公債費	975	956	899	912	940	951	946	961	961	956	949	9,431
(4) その他義務的経費	684	662	664	629	606	601	600	603	606	601	600	6,172
2. 特別需要経費等	220	229	209	205	166	158	136	136	109	98	123	1,569
3. 公共事業費	816	866	875	864	810	805	814	823	829	826	801	8,313
4. 部局調整経費	957	961	965	967	967	967	967	967	967	967	967	9,662
歳出合計②	5,195	5,290	5,188	5,146	5,059	5,026	5,005	5,044	5,028	5,016	5,009	50,811

収支①－②	▲136	▲250	▲264	▲275	▲263	▲242	▲249	▲262	▲254	▲247	▲243	▲2,549
-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	--------

年度末基金残高	518	268	4	▲271	▲534	▲776	▲1,025	▲1,287	▲1,541	▲1,788	▲2,031
---------	-----	-----	---	------	------	------	--------	--------	--------	--------	--------

◆前ページの推計の前提条件

(1) 景気動向

名目経済成長率：(H20)1.4% (H21)1.7% (H22)1.9% (H23)2.0%

国の経済財政運営の中期方針である「日本経済の進路と戦略(平成19年1月25日閣議決定)」の参考試算(経済財政諮問会議提出)で示された経済成長率の半分程度に設定(H24以降)設定なし

(2) 歳入

【一般財源】

県税

○個別推計したもの

法人県民税・事業税(特に税額が大きい法人)、県民税利子割、核燃料税、産業廃棄物減量税

○名目経済成長率を考慮して推計したもの

法人県民税・事業税(その他の法人)、個人県民税・事業税、地方消費税、不動産取得税

○H19と同額で推計したもの：その他の税目

地方交付税+臨時財政対策債

○基準財政需要額(公債費・事業費補正を除く)は、H20からH23は全国平均伸率見込(H19.4.20総務省公表)を参考に推計、H24以降はH23と同額で推計

○公債費及び事業費補正は、現行措置率を前提に積み上げ積算

○基準財政収入額は県税等の推計に連動

○臨時財政対策債については、現行制度を前提にH19算定額と同額で推計

【特定財源】

県債

現行制度(対象事業、充当率等)を前提に歳出見込みから積上推計

(3) 歳出

義務的経費

①職員給与費

○人 員

定員削減計画をH24まで織り込み推計

警察官については、H20以降同額で推計

教員については、H20からH22までは、今後の生徒数の見込みから推計、H23以降はH22と同額で推計

○給与水準

給与改定率は、H19以降0%とし、給料カット・手当連動及び議員の報酬カットはH19まで反映

○退職手当

定年者数や直近の退職者数を基に、退職見込み者数を想定し推計

②扶 助 費

(社会保障経費)

今後の対象者数の増減、単価の見込み及び制度改正の影響を反映、H24以降はH23と同額で推計

③公 債 費

新規発行分借入利率：政府・公募債1.9%、銀行等2.5%で推計

特別需要経費

今後の所要見込額(各部局見積)から積上推計

公共事業費

補助及び単独の粋事業は、H19と同額で推計

特定事業、直轄事業は、可能な限り今後見込額を計上

部局調整経費

原則H19と同額で推計